

メールニュース

No.22-24
2022年 5月20日

安保破棄中央実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

5月
15～29日

復帰50年の沖縄と連帯し、基地のない平和で
誇りある豊かな沖縄をめざす行動強化期間

愛知

改憲戦争する国づくり阻止
沖縄と連帯する学習会

5月15日～29日を 復帰50年の沖縄と連帯し、基地のない平和で誇りある豊かな沖縄をめざす行動強化期間」とし、各地で集会や宣伝、

京都

デニー知事の「建議書」実現を
参加者 宣伝行動やってよかった

署名などの行動にとりくんでいます。安保破棄愛知県と安保破棄京都の両実行委員会のとりくみを紹介します。

沖縄本土復帰50年の5月15日、沖縄から仲山忠克弁護士を招いて、8月25日告示、9月11日投票の知事選挙で 玉城デニー知事勝利に向け「沖縄と連帯する学習会をオンラインを交え、民主会館で開きました。リアル24人、オンライン3人でした。

仲山弁護士から、沖縄復帰50年の実相を告発。祖国復帰に込めた沖縄県民の願いである基地のない沖縄は、復帰後も後も変わらない。辺野古新基地建設も、少女暴行事件でこのままでは安保体制がもたない」と普天間基地返還を打ち出したが、あくまで基地機能維持が目的であり、戦争する国の拠点として辺野古を位置付けている。

沖縄は基地を挟んで 保守は経済、革新は平和と対立してきたが、2013年、建白書でオール沖縄が保革を超えて結成された。自民党は官邸をあげてオール沖縄つぶしを図り、選挙は辺野古には触れない争点隠し。官邸に対抗するには、沖縄だけでなく、国民のたたかひが必要。

安保容認の翁長知事は、憲法の上に安保があり、国会の上に日米合同委員会がある」とした。日本の安全保障のあり方は、沖縄が先行的に示している。沖縄と同じことが日本全国で起きる。知事選挙に勝利して、安保体制への異議申し立てと改憲・戦争する国づくり阻止を呼びかけました。(安保愛知・福田秀俊)

沖縄の本土復帰50年を迎えた5月15日に安保破棄京都実行委員会と京都平和委員会が呼びかけた宣伝を京都駅前で行いました。行動にはサンサン革新懇の2名の方を含めて17名が参加しました。訴えは6名が行いました。

弁士は、サンフランシスコ条約上不可能とされた本土復帰を沖縄と本土の連帯で不可能とされた壁を打ち破って本土復帰を勝ち取った話や琉球政府の屋良朝苗主席が日本政府に手渡した復帰後の沖縄の将来を示した「建議書」や数々の米軍の犯罪・事故で米軍を日米地位協定によって処罰できない問題。米軍に日本の検疫ができなくコロナ感染が拡大した事や普天間基地撤去・辺野古新基地建設中止。玉城デニー知事が新たに作成した「建議書」に書かれた平和で豊かな沖縄を実現しようと呼びかけました。

道行く人の反応はマスコミの報道もあり普段より関心が高くビラ150枚と辺野古リーフ70部ぐらいを受け取ってもらえました。

また、参加者の1人が積極的に声かけをし、最初は躊躇していた修学旅行中の中学生の20名のグループの半数がビラを受け取ってくれました。また、辺野古署名と地位協定改定の署名にもとりくみました。

参加者の感想はビラの受け取りも良く宣伝行動やって良かったという感想がありました。

安保京都・篠原真弓)



安保愛知、沖縄と連帯する学習会 (5月15日)

辺野古新基地反対、オスプレイ配備撤回、日米地位協定抜本改定など
署名国会提出行動への参加を

日時 5月25日(水)午後2時～
会場 衆議院第1議員会館
第4面談室

午後1時30分から通行証渡します
主催 安保破棄中央実行委員会



安保京都、京都駅前で行った宣伝行動 (5月15日)